
	<h2 style="text-align: center;">企画展「牧野富太郎を継ぐ藤島淳三 ボタニカルアートの開拓者 - 」を開催！</h2>		事前のお知らせ
	会 期	前期:平成27年10月10日(土)～11月15日(日) 後期:平成27年11月21日(土)～12月23日(水・祝) 時間:午前9時30分～午後4時30分 火曜休館(ただし、11月3日(祝)は開館、4日(水)は休館)。	
と ころ	練馬区立 牧野記念庭園記念館 (東大泉6-34-4 牧野記念庭園内)		
<p>練馬区に居を構え「日本の植物学の父」と呼ばれた、世界的な植物学者牧野富太郎博士。その住居跡を整備した区立牧野記念庭園で、「牧野富太郎を継ぐ 藤島淳三 ボタニカルアートの開拓者」と題した企画展を10日から開催します(入場無料)。</p> <p>藤島淳三は、挿絵のような存在であった植物画を芸術的に観賞できるものにしようと、ボタニカルアート協会を同志と共に創設し、その道を切り開いた画家です。</p> <p>本展では、牧野博士などから教えを受けた藤島のボタニカルアート(植物画)作品を中心に、図鑑の原図などを展示します。また、藤島が林業試験場勤務時代などに描いた菌類の図(森林総合研究所蔵)を初公開します。</p> <div data-bbox="1109 638 1476 1153" style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">Makino Memorial Garden &amp; Museum                  企画展 牧野富太郎を継ぐ 藤島淳三                  — ボタニカルアートの開拓者 —</p> <p style="text-align: right;">観覧: 10/10(土)～11/15(日)                  観覧: 11/21(土)～12/23(水・祝)</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">練馬区立 牧野記念庭園記念館</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">リーフレット</p>			

### 【花との出会いと経歴】

藤島淳三(明治36年～平成2年)が生涯、花を描くことになるきっかけとなったのは、14歳で患った大病の療養生活で、花の写生を始めたことでした。日本画家であった父に草花の描き方の手ほどきを受けた藤島は、牧野博士(文久2年1862年～昭和32年)に師事し、菌類学者の今関六也(明治37年～平成3年)らのもとで植物を描く仕事に就きます。農林省林業試験場などで標本をもとに植物を写生するなかで、観察によって得られる正確さ・緻密さを身に付けます。その一方で、野外に咲く植物の姿に感動し、退職後には生き生きとした植物を描いていきました。

### 【牧野記念庭園の紹介】

世界的に著名な植物学者である牧野富太郎博士が大正15年から昭和32年まで居住し、自らが採取してきた植物を植え、「我が植物園」として愛した住居跡を整備した庭園です。園内には牧野博士が発見し、妻の名をとって命名したスエコザサをはじめ、日本で最大級のセンダイヤ(サクラ)、ヘラノキなど300種類以上の植物が育成しています。



交通案内:西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 徒歩5分  
 開園時間:午前9時～午後5時 / 入園無料  
 休 園 日:火曜(火曜が祝休日にあたる場合は、その直後の祝休日でない日を休園)、年末年始

「ヒガンバナ」藤島淳三 筆 個人蔵